

世界のお茶会



～アルゼンチン編～

「ヨーロッパが薫る南米の国」

平成 26 年 11 月 9 日（日）、大谷アリシアさんをイーグレひめじにお迎えし、国際交流ふれあい教室「世界のお茶会～アルゼンチン編～」を開催しました。

日本から乗継便で 20～30 時間という、私たちには少し遠い印象のあるアルゼンチン。「南米のパリ」とも称される首都ブエノスアイレスをはじめ、実はヨーロッパの薫りが色濃い国だそうです。建物を見てもそうですが、住民もほとんどがヨーロッパ系だというお話に参加者の皆さんは驚いておられました。出稼ぎにやって来たイタリア人の子孫が多いため、イタリア料理は大変ポピュラーだそうです。



スペイン領だったことから、公用語はスペイン語。実は多くの人々によって話されており、日本人には読みやすく発音もしやすいのでおすすめだとか。商品名などにもよく使われていて、知らず知らずのうちに耳にしているようです。

FIFA ワールドカップの準優勝国でもあるアルゼンチン、サッカーはやはり大変人気ようで、サッカーボールがない子供は靴下を丸めたりして遊んでいるのだとか。野球の阪神のように地元根付いたサッカーチーム「Boca Juniors」の紹介もありました。

後半に紹介された、イグアスの滝やアンデス山脈をはじめとする雄大な自然は圧巻でした。アルゼンチンの国土が世界第 8 位、というのもうなずけます。



さて、今回お出ししたのは、「飲むサラダ」とも言われるマテ茶。アルゼンチンでは焙煎しない緑のものを飲みます。肉料理がほとんど（焼肉は一人前が 500g なのだとか！）というアルゼンチンでは、このマテ茶で野菜不足を解消するそうです。

お茶うけには、チョコレートと、伝統菓子ピオノノ（ミルクジャムの入ったロールケーキ）。ピオノノは、甘さがしっかりある素朴な味が好評でした。

アリシアさんご自身のお話からは、自然体でかわいらしいお人柄がよく伝わり、終始和やかな雰囲気でした。アルゼンチンについて、楽しく学ばせていただいたひと時でした！

メッシは
左利き！



マテ茶やピオノノ、
美味しかったです！



※写真掲載を承諾いただいた皆さんです。